

身近なところから建築が

私は現在、秋田職業能力開発短期
大学校で住居環境科を担当していま
す。建築というのは、非常に奥の深
い分野であると感じています。建築
物の規模も、小さいものは一般の戸
建て住宅から、大きいものは都市に
建つ高層ビルなど様々です。建築物
をつくる際には、その土地の制限や
建築物に関わる人のこと、建築物の
形や機能、安全性など、様々なこと
を検討しなければなりません。その
検討したものに対して、伝統的な技
術と現代の技術を活用して、一つの
「かたち」にするのです。そういつ
た建築の魅力が伝えられるように
日々奮闘しています。

話は少し変わりますが、私は昨年
まで三重県にある、ポリテクセンタ
ー伊勢で住宅リフォーム技術科を担
当していました。ポリテクセンタ
ーは、主に求職者と在職者に対して職
業訓練を行っている施設です。求職
者向けの職業訓練は、期間が6か月
の訓練となっております。主に、再
就職に必要な知識や技能を習得
するための訓練を実施しております。
ポリテクセンター伊勢では、住
宅リフォーム技術科の他に、機械、
電気、溶接に関する職業訓練を実施
している科があります。
住宅リフォーム技術科の訓練内容
について少し紹介したいと思います。

す。この科は、木造住宅に関して、
施工方法、リフォーム計画、積算・
見積り、コンピュータを利用した各
種建築図面の作成などの訓練を行っ
ております。建築関係に興味があ
り、建築の分野で働きたい意志のあ
る求職者の方が受講希望されます。
その時、私が心掛けていたこと
は、建築がいかに楽しい分野かとい
うことを伝えるということです。建
築関係に興味がある方々に対して、

更にモチベーションを高めるために
は何か必要が日々考えていました。
建築に興味を持ってもらえればと
思い、受講される方によく話してい
たことがあります。それは、建築は
身近な何気ないところにあるとい
うことです。普段使っている言葉の中
にも建築が由来となる言葉がありま
す。例えば、「いの一(い)番」という言
葉があります。「真(ま)っ先に、一番初
めに」などの意味がある言葉です

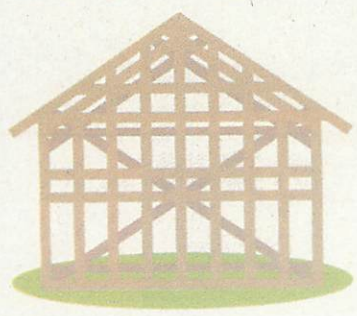


実際に建築施工実習で作成した
木造建築の部材の写真



が、これも建築由来の言葉です。戸
建て住宅を建てる際の一歩初めに建
てる柱の位置のことを言います。今
でも戸建て住宅の図面を見るときわ
かりますが、「番付」というもので柱
の配置を決めています。この「番
付」は横方向を「い、ろ、は、に、
三、」、縦方向を「一、二、三、四
三、」というように整理しています。
つまり一番初めに来る柱が「いの一
番」となるのです。皆さんも機会が
ありましたら、このことを思い出し
て頂ければと思います。

また、ある建築家の言葉に、「建
築家は預言者でなければならぬ。
真実意味の預言者だ。10年先を見る
ことのできないものは、建築家と称
する(て)はできない。」「というもの
があります。先々のことを深いこ
ろまで検討することが大切だとい
うことです。私自身、まだまだ深いと
ころまで考えられないことが多々あ
ります。建築
というものを
考えれば終わ
りのない魅力
があります。
そんな建築の
深いところに
興味を持って
頂ければと思
います。



秋田職業能力開発短期大学校
住居環境科 講師

平 たいら
和 かず
基 き

